



岩本山公園にて 撮影:植田真晴

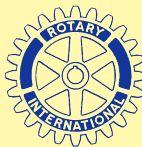
VOL. 2834

Rotary International

「結束の力で未来を創る」

第2834回例会 2024.12.18

ソング「四つのテスト」



富士ロータリークラブ **WEEKLY**

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30
例会場:ホテルグランド富士
TEL(0545)61-0360
事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1
ホテルグランド富士内
会長:佐藤 昌久
副会長:田村 洋
幹事:石橋 広明
副幹事:塩谷 知一

会長挨拶

佐藤 昌久



本日は今年最後の例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

先日のクリスマス家族忘年会では、皆さまの笑顔と温かな雰囲気の中で、楽しいひとときを過ごすことができました。

ご参加いただいた皆さま、そして準備や運営にご協力くださった方々に心より感謝申し上げます。

今年の締めくくりにふさわしい、心温まる会になったのではないのでしょうか。

さて、気がつけばあっという間に年の瀬を迎えています。今年も私たちのクラブは、奉仕活動や地域貢献に力を注いでまいりました。皆さまのご協力のおかげで、多くの事業を成功させることができたこと、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

特に岩本山公園への水飲み場看板設置、外国人富士市魅力発見バスツアーや食料支援事業など、地域に密着した活動で未来へつながる取り組みを進めることができました。それぞれの活動を通じて、地域の皆さまとつながり、私たちロータリークラブとしての存在意義を改めて感じる半期になったと思います。

来年も、私たちの活動が地域社会や国際社会にさらに良

い影響を与えられるよう、力を合わせて進んでまいりましょう。皆さまと共に、新しい年が実りあるものなることを心より願っています。

最後になりますが、皆さまにはどうぞ良いお年をお迎えください。そして新年、また元気なお姿でお会いできることを楽しみにしております。皆さまの健康とご多幸を祈念いたしまして、今年最後の例会の挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

親睦委員会

榮賀 明

会員誕生日	鈴木 一弘	12.23
家族誕生日	瀬尾 紘子	12.12
	大箸 ひろみ	12.13
	佐野 茜	1.1
結婚記念日	石井 大介	12.21
	望月 慎一郎	12.26
	池田 大祐	1.11
入会記念日	滝 克芳	H 17.1.5
	塩谷 知一	H 28.1.6
	山田 昌宏	R 5.1.11
創立記念日	林 美咲	S 43.12.20
	井出 清章	S 36.1.1
	塩谷 知一	H 27.1.1
	瀬尾 究	H 4.1.10
	滝 克芳	H 5.1.10

★私のスマイル

吉田浩之君 クリスマス例会皆さまご苦勞様でした。楽しく過ごせました。年末になりいそがしく、寒くなってきたので皆さんお身体に気をつけましょう。

榮賀 明君 X'mas'パーティ高額商品をたくさんありがとうございました。みな様のおかげで大変盛り上がりしました。とても楽しかったです。

例会プログラム予告

1月8日 夜間例会(新年祝賀会) 会場:ホテルグランド富士

1月15日 下期クラブ協議会(委員長報告)

田村 洋君 本年最後の例会です。1年間お世話になりありがとうございました。

川村統勇君 クリスマス家族会、大変楽しく過ごせました。親睦の皆さんロータリーの皆様ありがとうございました。

井出清章君 クリスマス例会では池田さん田村さん赤堀さんすばらしい演奏で会が大変盛り上がりしました。榮賀委員長も食事ヌキで大変でしたね。孫達と一緒に大変楽しみました。有難うございました。

塩谷知一君 クリスマス会では子どもたちがお世話になりありがとうございました。とても楽しかったようです。

本日は富士宮のお浅間さんから鈴木さんが来てくれ卓話を頂きます。楽しみですね。

大箸光弘君 家内の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。

植田眞晴君 先日のクリスマス会、親睦委員会の皆様、フジロータリーのメンバーの皆様心から楽しませて頂きました。ありがとうございました。まさしく手作りの心のこもったパーティーでしたね！

佐藤昌久君 クリスマス忘年会、楽しく過ごさせて頂きました。親睦委員会の皆様、富士ロータリーの皆様お世話になりました。

太田義隆君 クリスマス会は孫が大変喜んでいました。親睦委員会、富士ロータリーの皆さん、ご苦労さま、ありがとうございました。

12/4 例会後コーヒーの会

本日合計 ￥16,300 7月からの累計 ￥146,850

出席報告

榮賀 明

2834回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	31名	7名	24名	77.4%

2832回 12/4確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	31名	6名	25名	80.6%

山下いづみさん 佐野力哉さん 米山奨学委員会
ベネファクター寄付認証授与 奨学生選考委員嘱状授与



卓話

富士山本宮浅間大社
権彌直 鈴木 雅史 様



浅間大社と米之宮浅間神社について

- ・第7代孝靈天皇の御代に富士山の噴火、人々が避難し国中が荒れ果てる。
- ・第11代孝仁天皇3年（BC27）浅間大神を山足の地にお祀りし、富士山の山霊を鎮める。
- ・第12代景行天皇40年（110）日本武尊は浅間大神を山宮（現、世界文化遺産山宮浅間神社）に遷す。
- ・第51代平城天皇の大元元年（806）坂上田村麻呂が、現在の大宮の地に遷し、社大な社殿を営む。
- ・大宮の地は富士山の湧水が豊富に流れ込む地であり、噴火を鎮める水徳の神を祀る場所に最も適していた。



山宮浅間神社



富士山本宮浅間大社

本殿

- ・慶長5年（1600）関ヶ原の戦いに際し勝利を得た徳川家康が、奉養のために慶長9年（1604）本殿・拝殿を始め30余棟に及ぶ社殿の大造営を行った。
- ・三間社流造の二階を持つ檜皮葺の建物は、他に例を見ない浅間造と呼ばれ、国の重要文化財に指定されている。
- ・高さ13m。



本殿



湧玉池

湧玉池

- ・富士山に降った大量の雨や雪は、やがて麓の方へ押し流され湧水として現れる。
- ・境内泉源には、国の特別天然記念物に指定されている湧玉池がある。
- ・中世以降富士山に登る人々は、湧玉池でまず術をし、富士登山に臨んでいた。
- ・水温は年間を通して13℃、湧水量は毎秒2.4キロリットル。

朝野の景観

- ・天応元年（781）・延暦19年（800）・延暦21年（802）と噴火が続くと、仁寿3年（853）神降従三位に叙され、貞観元年（859）には正三位に昇進、更に貞観6年の噴火では特に大きな被害が出た為、朝廷より奉養があった。
- ・平安時代末期頃に駿河国一宮となる。
- ・鎌倉時代には建久4年（1193）源頼朝が流鏝馬を奉納、執権北条義時は社殿を造営している。
- ・南北朝時代には南朝の後醍醐天皇が地頭職や領地を寄進、室町幕府を興した足利尊氏は領地を寄進している。
- ・駿河の守護今川氏は領地を安堵、甲斐の武田信玄は北条氏討討に際し、戦勝祈念の願状を奉納、その子頼朝は社殿を修造し、甲冑・刀剣・琴も奉納している。
- ・豊臣秀吉は領地を寄進、徳川家康は本殿・拝殿を始め30余棟に及ぶ大造営を行うと、慶長14年（1609）富士山頂上の噴火口に撒かれた散銭及び登山道者の役銭をその修繕料として寄進している。
- ・安永8年（1779）には幕府の裁許により富士山8合目以上が境内地として認められる。



寛文10年『社垣絵図』（徳川家康の大造営）



流鏝馬

流鏝馬祭 (5月4・5・6日)

- ・建久4年（1193）源頼朝が富士の裾野で巻狩を行い、流鏝馬を奉納したのが始まりとされる。
- ・5月4日の前日祭では、川原旗（現在は富士川水神社、昔は鈴川）・馬場旗・本社選擇が行われ、5日の本祭では富士宮市無形民俗文化財に指定されている古式流鏝馬、練行、小笠原流神亭流鏝馬式が奉納される。

※紙面の都合上以下は割愛させていただきます。

編集者 田邊 登 崇